

20年目の葉山

村山市立葉山中学校
学校だより
第3号
令和5年5月8日

資源回収へのご協力ありがとうございます。

校長 富塚 義幸



5月6日（土）、保護者・地域の皆様のご協力のもと資源回収を行いました。資源回収で得た収益金は、不足する生徒活動費に充てさせていただきますが、資源回収の目的はそれだけではありません。“作業を通して、生徒が地域の一員としての連帯を深めて、奉仕の心と社会性を身に付けてほしい”という強い願いが込められ、これまで続けられてきました。生徒の皆さんの頑張りはどうだったでしょうか。コロナ禍を踏まえ、今年度は1回の実施となりますが、子ども

たちの成長の機会として今後ともご協力をよろしくお願いいたします。1年2組の芦野樹里さんは「段ボールなどをトラックに積み上げる仕事をしました。上下動を繰り返したので少し辛かったです。家族や地域の方の手伝いがあり本当に助かりました。来年は、地域の方ともっとコミュニケーションを深めて、感謝の気持ちをきちんと伝えたいです。」と話していました。



＝3年北海道“修学旅行”報告＝

4月26日（水）～28日（金）、下記の旅程で北海道方面へ3年生が修学旅行に行きました。

<1日目> ・コース別体験学習 ・洞爺湖温泉宿泊

コースは、①生キャラメル作り、②昭和新山クマ牧場、③無人島トレッキング（悪天のため火山科学館へ変更）

<2日目> ・函館市内班別自主研修 ・レストラン五島軒 ・函館山夜景観賞 ・函館市内宿泊

<3日目> ・五稜郭公園 ・函館ベイエリア散策

出発式で、実行委員長の古原真磨さんは「53人全員が、楽しく、学びのあるスペシャルな思い出をお土産に持って帰ってくる修学旅行にしましょう。そして、この修学旅行を通して、さらに団結力のある3学年に成長しましょう。」とあいさつしました。たくさんの成果と少しの課題を今後に活かしてください。右の写真は、バスガイドさんが「こんなに綺麗に見えるのは珍しい！」と言っていた函館山からの夜景です。自然の豊かさ、人の優しさ、仲間との関係など様々なことを考える旅となりました。3年生の成長した姿がうれしいです。



資料：「葉山中学校の部活動」と「山形県における部活動改革」



左の写真は、北村山中学校駅伝競走大会（5月1日）で先行するランナーを追い上げる葉山中学校駅伝チームの雄姿です。大会は、葉山中学校外周コースで実施されました。外周コースでの実施は初めての試みでしたので、交通規制など地域の皆様にはご迷惑をおかけしました。男子総合6位、女子総合4位の成績でした。女子の個人成績で、矢ノ目琴音さん（3年）が1区2位、高橋 築さん（1年）が2区3位、朝鳥美結さん（3年）が3区3位に入賞しました。本校を含め、大きな事故なく無事終了することができました。ご協力ありがとうございました。

さて、今年度部活動加入が明らかとなり、部活動運営会議（5月2日）が保護者会長・コーチ・顧問が出席して開催されました。令和5年度部活動運営計画やスクールバス利用、中体連主催大会の予定などについて協議し、その後、各部会も行いました。以下、生徒加入状況です。

	1年	2年	3年	計
剣道部（男女）	3名	1名	5名	9名
男子バスケットボール部	3名	7名	10名	20名
女子バスケットボール部	3名	1名	4名	8名
女子バレーボール部	7名	1名	3名	11名
男子卓球部	5名	1名	1名	7名
女子卓球部	5名	4名	1名	10名
野球部（男女）	7名	7名	5名	19名
陸上競技部（男女）	16名	6名	16名	38名
吹奏楽部（男女）	0名	7名	8名	15名

部活動は、平日1日以上と日曜日を休養日に充てることを県内中学校で申し合わせています。本校では、月曜日と日曜日（日曜日に活動を行う場合は土曜日）を休養日とします。詳細については、各部顧問にお問い合わせください。

また、『山形県における部活動改革ガイドライン』（令和5年4月19日付：教育局スポーツ保健課）では、「生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築」と「教員の働き方改革の推進」の両立を目的に、5つの柱で改革に取り組んでいくことが示されています。（詳細は県のホームページで確認ください。）

<山形県における部活動改革ガイドラインの5つの柱>

I 山形県における部活動改革に係る基本的な考え方

- 1 部活動の位置づけ 2 休日の部活動の考え方 3 休日のスポーツ・文化芸術活動に対する考え方

II 部活動改革に向けた学校の体制整備（中高の取り組み）

- 1 部活動の任意加入制の推進 2 部活動数の精選 3 複数顧問の配置 4 合同部活動の取り組み

III 新たな地域クラブ活動の環境整備（受け皿となる運営主体等の決定）

- 1 新たな地域クラブ活動への移行に向けた環境整備 2 新たな地域クラブ活動への移行時期等

IV 新たな受け皿となる地域クラブ等活動について

- 1 新たな受け皿となる地域クラブ活動の在り方 2 新たな受け皿となった地域クラブの整備への支援
3 指導者 4 会費の適切な設定と保護者等の負担軽減 5 保険の加入

V 大会等の在り方

- 1 生徒の大会等の参加機会の確保 2 部活動を踏まえた大会等への参加について

本校では、国・県・市の考え方を踏まえて、令和6年度より部活動が任意加入となります。